

光星学院

海外展開へ会社設立

学校運営、人材紹介事業も

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)は30

日、法人の100%出資による子会社「八戸学院グループ」(同市)を年内に設立することを明らかにした。2018年6月にフィリピンに開設する予定の中

高一貫校の運営を担うほか、主に介護やITの分野で、青森県内外の企業にアジア各国の学生を紹介。法人の収益力強化につなげる

とともに、両分野の人手不足解消による地域貢献も目指す。

法人理事の大谷真樹・八戸学院大学長が同日、学内で本紙などに説明した。

八戸学院グループは、法人の子会社で現在スクールバスの運営などを担う「学園サービス」(同市)の名称を変更し、資本金を9800万円に増資する。法

官新一理事長が代表取締役会長に、大谷学長が同社長に、それぞれ就任する。

フィリピンに開設する中高一貫校「八戸学院カテドラル高校」などで学んだ生徒らを、介護、IT分野の企業などに有料で紹介。収益は法人に寄付金として還元する。旧会社の事業も継続する。

大谷学長は取材に「青森県、岩手県北に貢献できる人材を育て、地域の企業に紹介したい」と強調した。

(福田駿)

大谷学長は取材に「青森県、岩手県北に貢献できる人材を育て、地域の企業に紹介したい」と強調した。

(福田駿)